

- 問1 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。 | 2. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。 | 3. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。 | 4. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。 |
|---|---|---|---|
- 問2 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 | 2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 3. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 | 4. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 |
|---|--|---|--|
- 問3 縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した | 2. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった | 3. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた | 4. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、竪穴住居での定住が進んだ |
|--|---|---|--|
- 問4 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|
| 1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された | 2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された | 3. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である | 4. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である |
|--|---|---|-------------------------------------|
- 問5 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 2. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 3. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 4. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 |
|--|---|---|--|
- 問6 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された | 2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった | 3. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた | 4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問7 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。 | 2. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。 | 3. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。 | 4. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。 |
|---|--|--|---|
- 問8 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|------------|--------|
| 1. 琉球民族 | 2. アイヌ民族 | 3. 蝦夷（えみし） | 4. 渡来人 |
|---------|----------|------------|--------|
- 問9 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 持続可能な社会 | 2. 高度情報化社会 | 3. 中央集権社会 | 4. 多文化共生社会 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問10 青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。 | 2. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。 | 3. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。 | 4. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。 |
|---|--|--|--|
- 問11 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。 | 2. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。 | 3. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。 | 4. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。 |
|--|--|---|---|
- 問12 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 竪穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。 | 2. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。 | 3. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。 | 4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問13 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 環濠集落 | 2. 貝塚 | 3. 古墳 | 4. 高床倉庫 |
|---------|-------|-------|---------|